

コロナ禍の第三十七回芸術祭を顧みて

習志野市芸術文化協会

副会長 澤田 弘

習志野市芸術文化協会が主催する、第三十七回芸術祭が令和三年四月十六日・十七日・十八日、習志野文化ホールとモリシアホールで開催された。

芸文協が主催する催し物は、春の芸術祭と秋の文化祭があるが、令和2年度は、第三十六回芸術祭が新型コロナウイルス感染症防止対策で会場が使えなくなったことから全面的に中止となった。文化祭もケアラロゼラニのフラフェスタと習美会の絵画展以外は中止となつてしまった。

芸文協に加盟の一一九団体、四五六三名の方々が楽しみにしてきた「芸術祭」「文化祭」を、これまでのようには出来ないままでも、この状況の中で何とか開催できないか検討した。公民館等で行われる、合唱・合奏練習、絵画・書道教室等が感染防止対策で「休止」となり、作品が極めて少なくなつてしまった。

そんなコロナ禍の中で、第三十七回芸術祭は会員の熱意で、習志野文化ホールでは、日舞の舞踊会、アロハフェスティバル習志野、ハワイエでの華道



展。モリシアホールでの習美会・あとりえ菊田の絵画展、書道展、陶芸展、和紙ちぎり絵展、切手展、そしてご来賓をお招きしての式典を開催できた。

感染拡大防止対策としては、消毒・検温・マスク着用はもちろんのこと、三密を避けるため、客席の前後・左右を空けるため「座席指定」とし、入場券半券に氏名と連絡先を記入していただいた。また、楽屋の使用も時間制とした。

これからも、諸々の制約の中で文化活動を行っていくことになるでしょうが、いつも前向きに会員相互が力を合わせて素敵な活動を展開していきたいと思う。

令和三年度 視察研修案内

昨年は新型コロナウイルスの影響で中止しましたが、今年是最善の感染防止対策をとつて、笠間美術館での芸術作品との出会い、那珂湊での美味しい海産物でお腹を満たし楽しい一日を過ごせたらと茨城方面を企画し開催予定です。

皆様のご参加をお待ちしております。

日時：十一月十九日(金)

行き先：茨城方面

笠間日動美術館

那珂湊(昼食 買い物)

かねふく明太パーク大洗

会費：七〇〇〇円

募集人数：三〇名程度

(小笠原仁仙)

令和三年度 新年会員交流会案内

昨年は中止となり、残念なことでした。

今年度は来年一月にはワククン接種も進んでいるとの予測の基、例年と同じ様に開催できますようにと心待ちにして予定いたしました。

会員皆様で新しい年を祝いたいものです。

日時：令和四年一月十七日(月)

場所：ホテルグリーンタワー幕張

会費：七〇〇〇円

(三戸 良子)

習志野俳句会

この星に水あるかぎり蜻蛉生る 矢田 涼

花蘇鉄窟の奥まで潮げぶり 北村 操

スコールやアインシュタインあつかんべー 野村 昌代

白夜なり魁夷の白馬跳ねるかと 櫻井真理子

枇杷熟るる里見八犬伝の安房 村井 藤香

雪溪にアイゼンの音風清か 松本 武

日が育て雨の仕上げし茄子の紺 真鍋 元祿

鳥は夏草間彌生の大南瓜 松本 恵

七夕の笹の青さよ道の駅 三橋 喜代志

猫連れて青葉若葉のトンネルに 富澤 歌子

鳥を入れ青蘆原のひとうねり 藤原 明美

花鉄の涼しき音を四つ目垣 中村 世都

事務局だより

今年度四月芸術祭は、規模縮小ではありましたが、感染対策を徹底し式典に始まり三日間を通し無事終えることができました。舞台・展示とも久しぶりに発表できる喜びがあり、鑑賞するお客様にもそれが伝わっていました。

総会は、蔓延防止等緊急重点措置発令中でしたので二年続いでいる書面議決となりましたが会員皆様のご協力によりすべて承認されました。芸術祭・総会ともに詳細を本紙に掲載しておりますのでご覧下さい。

秋には、市展・市民文化祭視察研修も予定されます。尚コロナ感染状況によっては、変更・中止する場合がございます。(三戸 良子)

編集後記

コロナ禍のもと、次々と発表される緊急事態宣言に、感染予防対策をし日々自粛をしいられ、ストレスがたまる毎日です。外出もままならない状況でもあり、この機会を好機と捉え、永年進まない書類、資料の整理など前向きに対応をしてみたいと思っております。(仁科 順香)

習志野市芸術文化協会事務局
〒275-0026
習志野市谷津一―16―1
習志野文化ホール内
☎&FAX 〇四七(四七五)六八二―